

学校だより

芦花 Junior High school



NO. 12

令和8年3月12日
世田谷区立芦花中学校
校長 風間 浩也

芦花中を「地域のプラットフォーム」に～地域の担い手となる「絆づくり」～

校長 風間 浩也

毎朝、誰もいない校舎内を巡回しながら、教室の窓から見える季節ごとに移り変わる芦花の地域の景色を眺めることを日課として丸2年が経ちました。特に校舎4階からの冬場の景色は美しく、日が昇ったばかりの低い陽光が、朝もやの中にある芦花恒春園の木々を照らし、その上に覗くガスタンクと千歳清掃工場の煙突に真横から朝日が差している景色が私のお気に入りです。芦花の地域に育つ子ども達は、このガスタンクや煙突が豊かな木々に囲まれている景色を原風景として心に刻んでいくのだろうと感慨にふけることもあります。私は、以前は練馬区役所で働いていたのですが、先日、久しぶりに元勤務地を訪れた際に、当時は意識していなかった新たな発見をしました。20階建ての区役所から見る南側（杉並・世田谷方面）の景色には、環八沿いに高井戸の清掃工場の煙突の奥に連なって、千歳の煙突がよく見えることが分かりました。距離にして10キロメートルほど離れているのですが、私もすっかり「芦花っ子」の気持ちで「千歳の煙突」を確認しつつ、「あの煙突の足下が、我が芦花の地域だ」と思いながら風景を眺めていました。

学校と地域の繋がりについて、来年度より世田谷区では、これまでの「学校運営委員会」や「学校評価委員会」を「学校運営協議会」という形に統合整理することとなっています。区は「地域のコミュニティづくりに貢献できる学校」を目指しているとのことですが、このことは私がこれまで進めてきたかった「学校を地域のプラットフォーム化する」という方向性と同じものです。これまで進めてきた、地域での子ども達の「居場所づくり」、地域人材リソースの活用のための「選択肢づくり」に加えて、地域の方々や各機関との「絆づくり」をさらに進めたいと考えています。

芦花中学校は、これまで多くの地域人材を活用し、地域の方々に協力していただきながら、本校の教育活動を充実させてもらっていました。先日も、中学校3年生を対象とした「赤ちゃん教室」を学校支援コーディネーターのお力添えの下、地域の多くのお母さん、お父さん達に参加してもらって実施しました。多くの中学生にとって「赤ちゃん教室」で触れあった実際の赤ちゃんの抱き心地は、核家族化している現在の家族形態からすると非日常の貴重な体験です。また、小さな赤ちゃんを抱えた親の気持ちや思いについて話を聞けることは、自分の親に対して複雑な思いを抱きがちな思春期の子ども達にとっては、とても意味のあることです。さらに、今回はご自身やそのまた親御さんも芦花中出身という参加者の方からも芦花中生へ心に響くメッセージをいただき、この繋がりもとてもありがたかったです。地域のお力をお借りする活動は、その他にも「あいさつキャンペーン」であったり、土曜日に開催された職業講話「プロジョブ・トーク」であったりと枚挙に暇はありません。

これまで、どちらかという地域の方からの恩恵を享受する側だったものを来年度以降は、芦花中生が地域に貢献する場面を意図的・計画的に作っていきたくと考えています。その一つが、夏休みに実施予定の「芦花中防災キャンプ」です。地域の防災力の担い手として、地域の子どもである芦花中生に期待しての新たな試みです。もし首都直下型大地震が起きた場合、実際に避難所で力を発揮するのは地域の動ける人間です。その人材の中でも、若者への期待は大きいと考えています。現役の芦花中生だけでなく、芦花中時代に実際に避難所を開設し、避難体験（寝泊まり）してみた経験をもっている若者が、地域の防災活動を支えることができれば、この芦花の地域の防災対応力は非常に大きなものになるのではないかと考えています。この夏の実施に向けて、今年度から粕谷会、下町会、まちづくりセンター、社会福祉協議会の方々など、多くの地域の方のご協力を得て、「プレキャンプ」を実施するなど計画を練り上げているところです。

その他、地域ボランティア活動の活性化、区民農園を介した活動や花いっぱい運動への参加による地域の方との交流場面を広げていきたいと計画しているところです。これまでも行ってきた児童館や子ども食堂などとの連携に加えて、さらに地域との結びつきを強めていく試みは、4月から発足する「学校運営協議会」の中でも知恵を出し合い、発展させていきたいと考えているところです。芦花中生と地域の方々が、お互いに顔が見える関係を築いていくことを目標に、今後も芦花中の教育活動にご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

卒業まであとわずかとなっておりますが、彼らにとって帰ってこられる場所、「ふるさと芦花」となるように願っています。併せて、卒業後も芦花の学び舎を巣立った若者達と一緒に地域を作っていく未来を思い描いております。

ところで、芦花小中学校の両校の校歌には、「富士」が登場するのですが、屋上に上っても富士山を見ることができません。かつては学校から南西方向にあるはずの富士を仰ぐことができたのでしょうか。どなたかご存じの方より教えていただけましたら幸いです。

3月の学校の様子 ～3年生のみなさんの、“巣立ち”を祝福します～

【赤ちゃん体験】(3年生、1組)

3日(火)、4日(水)に、3年生と1組を対象に家庭科の授業で「赤ちゃん体験」を行いました。世田谷区の「子育てネット」にご協力いただき、両日ともに、0歳～1歳10ヶ月までに赤ちゃんとお父さん、15組が来校しました。生徒たちは緊張しながら赤ちゃんを抱っこさせてもらい、そのぬくもりや柔らかさを体感



していましたが、泣き止まなかったり、気持ちよくて眠ってしまったり、と様々でしたが、その可愛さに癒やされていました。

【3年生を送る会】(1組)

1, 2年生が今までお世話になった3年生に感謝の気持ちをこめて、今までの行事などにまつわるクイズや動画、劇などを準備し、発表しました。たくさんの保護者の方々にも参観していただきました。最後には3年生が、これまで支えてくれた先生方への感謝のメッセージを伝え、先生方は、涙、涙、涙。もう少しでお別れ



になってしまう先輩たちへ「頑張っ
てね」の気持ちを込めて、バトンを渡してくれました。笑いあり、涙ありの温かい時間でした。

【プロジョブ・トーク】(1年生、1組1年生)

3月7日(土)、1年生と1組1年生を対象に、職業講話「プロジョブ・トーク」を実施しました。今年度はトリマー、パーソナルトレーナー、製造業、映像クリエイター、印刷業、アナウンサーの6種の職業人の方々をお招きして、お話を伺



い、自分のキャリアについて考えました。「好きなことを大切に、夢をじっくりと考えていきたいです」(生徒の感想より)

【茶道体験】(3年生)

3月10日(火)、3年生と1組の3年生を対象に、茶道体験を実施しました。本校STEP茶道部でいつもお世話になっている朝比奈先生を始め、計5名の方を講師にお迎えし、茶道のお作法を学びました。慣れない正座から、足がしびれた生徒がたくさんいましたが、普段なかなかできない日



本文化体験を楽しむことができました。卒業を前に、芦花中学校での思い出がまた1つ増やすことができました。

「せたがや を たがやせ！」園芸部が、地域の方々の力を借りて「ジャガイモ作り」に挑む



日頃から、校庭の一角を畑として耕し、農作物を育てている芦花中園芸部。夏にはトマトやナスなどの夏野菜を、秋には稲を育てて、お米を収穫、脱穀し、ご飯を炊いておむすびを作っていました。その丁寧な仕事ぶりに感心します。今回、世田谷農福ファーム「せたそら」と連携し、ファミリー農園の一角をお借りして、ジャガイモ作りに挑みます。なんと、このジャガイモは、夏に実施予定の地域連携「防災キャンプ」のカラーの具材になる予定です。「芦花中×地域力」このキーワードで、学びの舞台は広がるばかり。地域の皆様

の温かいご支援、心より感謝します。※写真は R8 3/10 撮影

4月のおもな行事予定

6日(月)	始業式	17日(金)	いじめ防止プログラム(1年)
7日(火)	入学式		眼科検診、あいさつC終
9日(木)	給食開始	20日(月)	学校公開週間(始)
10日(金)	身体測定	23日(水)	全国学力状況調査(3年)
13日(月)	新入生歓迎会、部活動紹介	25日(土)	授業日、学校公開週間(終)
	全校朝礼、あいさつキャンペーン始		卒業生のお話を聴く会(1組)
14日(火)	内科検診(1年、1組)	27日(月)	内科検診(2年)
15日(水)	SOSの出し方(1年)	28日(火)	離任式、腎臓検診
16日(木)	ネットリテラシー醸成講座(1年)	30日(木)	耳鼻科検診